

Osada, H. (in press).

Screening children with callous unemotional traits in Japanese elementary and junior high school students: Validation of the Japanese version of the Inventory of Callous-Unemotional Traits. *Journal of the International Association of Psychiatry and Law.*

長田 洋和

2013年～14年に全国の小中学校へ向けて「CU特性 (Callous-Unemotional Traits)」の調査を行い、4,088人の児童から回答を得た。先行研究のカットオフに基づき、参加者のうち18.9% (759人) がCU特性を有する危険性を示した。CU特性はADHDとの関連があるとされる素行症の中でも重症度が重いものの特徴であることから、我が国の小中学校指導において、CU特性を持つ児童へ慎重な対応を行っていくことが、少年犯罪の予防の一助となる可能性が示された。

この調査結果をまとめた論文は、*Journal of the International Association of Psychiatry and Law*に投稿され、現在印刷中である。